

令和5年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	日本共産党上田市議団
事 業 名	研修会への ZOOM 視聴による参加
事 業 区 分	①研究研修 ②調査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

上田市議会では、決算議会が終了したばかりですが決算と予算の連動などの課題があり、改めて予算と決算の基礎編と応用編を学びなおして、今後の市政課題の解決につなげるために受講した。

2 実施概要

○開催状況は以下の通りです。

日付/時間帯/場所	視聴方法	パソコンで視聴であり、場所の指定はない。
10月19日 10:00～13:00	ZOOM 視聴	<p>(講義内容)</p> <p>◆予算における基礎知識～予算書を理解する～</p> <p>※基礎的な内容に加えて、令和5年度多摩市予算書を参考にした内容でした。</p> <p>1 予算とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算編成の流れ <p>2 予算の構成内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算書の内容(7項目) ・予算書の見方 <p>3 歳入の項目を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般財源と一般財源等 ・特定財源 ・自主財源・依存財源 <p>4 歳出の項目を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的別歳出(予算における歳出) ・目的別歳出(14項目) ・目的別歳出(節の区分)28区分 <p>5 地方交付税等の算定方式</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・基準財政需要額(単位費用×測定単位×補正係数) ・基準財政収入額(標準的な地方税収入×原則として75/100+ 地方譲与税等)
<p>10月19日 14:00～17:00 決算における基礎 知識～決算書を理 解する～</p>	<p>ZOOM 視聴</p>	<p>(講義内容)</p> <p>※基礎的な内容に加えて、多摩市決算書を平成29年度から令和3年度までのデータ及び財政白書を参考にした内容でした。</p> <p>◆決算における基礎知識～決算書を理解する～</p> <p>1 決算とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意義・目的と規定 ・決算審議の流れ ・決算提出時期 ・予算と決算の連動 ・決算審議の方法 <p>2 決算の構成内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治令166条、地方自治法233条5項 ・決算認定の意義 <p>3 目的別歳出</p> <p>4 性質別歳出</p> <p>5 財政分析指標の読み方～健全化判断比率～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各収支の意義(形式収支、実質収支、単年度収支、実質単年度収支、) ・健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率) ・決算カードの見方

◆上田市政に活かせる課題等

<講座の内容及び上田市に活かせること>

- ① 予算の講義では、講師から「予算編成方針」について参加者への問いかけがあり、上田市では令和6年度の予算編成方針は10月13日に提出されたことを紹介した。参加した市議からの反応はなかったため、上田市は少なくとも全国水準になっていることが分かった。
- ② 普通交付税額の決定方法と仕組みについては、改めて機銃財政収入役の25%分に当たる留保財源の意味合いが各自治体の努力によって歳入を確保したことに対する結果であることの確認できた。
- ③ 決算の講義では、決算の提出時期についてこれまでは12月議会で審議する議会が多かったが、早期決算の調製がすすみ9月議会での審議が多くなったとの指摘でした。上田市も以前は12月議会とのことでしたが、9月議会での審議になり決算と予算の連動が機能するようになったことが確認できた。
- ④ 決算審査の方法ですが、講師は常任委員会への分割付託は「議案一体の原則」からいって違法性があるとの認識でした。また、決算特別委員会は本来、予算と決算は毎年必ず審議されるので常任委員会にすべきとの指摘がありました。
- ⑤ 財政4指標に関する講義では、上田市は財政4指標を公表しているのを参考にしながら聴講することができました。参加している市(議会)では、財政4指標については反応はありませんでした。指標の見方や分析の一端がわかり今後の活かせる内容となりました。

議員・職員のための

同時開催！
オンラインセミナー

予算書・決算書を理解する ための基礎知識 in 福岡

10月19日(木)



講師: 廣瀬和彦

(株)廣瀬行政研究所代表取締役
元全国市議会議長会法制参事

慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了。
明治大学政治経済学部講師・明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科講師等として活躍。
著書は、「Q & A 議会運営ハンドブック」「地方議員ハンドブック」「政務調査費ハンドブック」(全てぎょうせい)など多数。

10:00～13:00

予算における基礎知識～予算書を理解する～

1. 予算とは
2. 予算の構成内容
3. 歳入の費目を理解する
4. 歳出の費目を理解する
5. 地方交付税等の算定方式

14:00～17:00

決算における基礎知識～決算書を理解する～

1. 決算とは
2. 決算の構成内容
3. 目的別歳出
4. 性質別歳出
5. 財政分析指標の読み方～健全化判断比率等～

(株) 廣瀬行政研究所